



7月は「きくちプラフリ月間」です

市はオーストラリア発の使い捨てプラスチックごみを削減する活動「プラスチックフリージュライ」に2年前から参加しています。今年も楽しくチャレンジできるイベントを企画しました(右下詳細)。普段の生活をちょっとエコにしてみませんか。



わたしたちにできること

市は令和3年5月に内閣府より「SDGs未来都市」に認定されました。持続可能な(住み続けられる)まちづくりに向けた市の取り組みや私たちができる身近なことについて、不定期で紹介いたします。

【問い合わせ先】SDGs推進室 ☎0968(41)4488



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

SDGs未来都市 菊池市

減らませんか？ あなたの周りのプラスチック

【問い合わせ先】環境課 ☎0968(25)7217

軽くて丈夫で利便性が高く、私たちの暮らしに不可欠になったプラスチック。一方で、その使用量が増加したことで、海洋ごみやCO2排出量増加など、社会や環境にさまざまな問題が発生しています。

どれだけ削減できる？ 家庭でもできるプラスチック減量

プラスチックの普及によって生じた問題を解決するには、まず使う量を減らすことが大切です。まずはマイナス10%。無理せず、家庭でもできる取り組みから始めてみましょう。どうしても捨ててしまうプラスチックは、正しく分別し、リサイクルしましょう。

使い捨てスプーンやフォークを使わない
【減量効果】約10g/本

ペットボトルではなくマイボトルを使う
【減量効果】約50g/本
※500mlペットボトルの場合

レジ袋ではなくマイバッグを使う
【減量効果】約10g/枚

洗剤や洗髪剤などは詰め替え製品を利用し、容器を再利用する
【減量効果】約50g/本
※某メーカーの容器の場合

家庭から排出されたプラスチックごみ量 (菊池市)

| | R3 | R4 |
|---------------|---------|---------|
| 資源物H(ペットボトル) | 約133.5ト | 約135.8ト |
| 資源物J(プラマーク製品) | 約290.2ト | 約277.2ト |

ペットボトルは増加傾向にあります。皆さんの取り組みで、さらに減らしていきましょう。

Q 10%の減量ってどのくらい効果があるの？

A 市民全員が1日に10%のプラスチックごみを減らすと、1年間で171トの資源ごみ削減になります。これで、およそ1,200万円のごみ処理費用を削減できます。

菊農SDGs宣言！

菊池農業高校では、環境保全型、循環型農業について学んでいます。農作物の鳥獣被害について学ぶ中で、放置竹林も要因の一つと考え、竹の利活用に取り組み始めました。

竹林の現状と課題

熊本県は全国6位の竹林面積を有し、タケノコの生産量は全国4位です。しかし、生活様式の変化で竹製品からプラスチック製品に変わったことや安価な輸入タケノコの増加、担い手の高齢化などにより放置竹林が増加しています。

放置竹林の解決に向けて、菊農の挑戦

- 1 竹を伐採 竹林の現状と課題を学ぶ。
- 2 食への活用 タケノコの消費拡大に向け、干シタケノコに加工し、メンマを開発。
- 3 農への活用 竹を粉碎し、有機発酵肥料の原料に。

実践中！

竹を使って生ごみを分解

活動する中で発酵肥料作りに竹チップが利用できることが分かり、令和4年に段ボールコンポストの実証実験を開始しました。

毎日500gの生ごみ(野菜の切りくずや食べ残し、廃油など)を投入。かき混ぜる作業を約3カ月繰り返し行いました。その結果、投入した生ごみは微生物の発酵により分解されることが確認できました。



1日で500グラム、1ヶ月で15キログラムの生ごみダイエット！



肥料として活用

できたコンポストは、野菜作りの肥料として活用されています。

利用者インタビュー 竹チップ 段ボールコンポストの使い心地はいかがですか？

ごみが減って、袋が大から中に！
昨年の秋頃から使っています。6人家族なので、結構な量の生ごみが出ますが、無理なく使えています(50代女性)。

廃油も肥料になって、とても便利！
使い始めて1カ月。毎日かき混ぜるのは少し面倒ですが、油や食べ残しも肥料になって便利です(20代女性)。

きくちプラフリ月間 イベント情報

エコマーケット
野菜やコーヒー、パン、スイーツなどの店舗が集結。マイボトルやマイ箸、エコバックを持って買い物しよう！
とき 7月9日(日) 午前11時～午後2時
ところ 生涯学習センター(キクロス) 正面玄関

竹チップ段ボールコンポスト作り
とき 7月23日(日) 午前10時～11時
参加費 200円 定員 先着25組

ススキのぼうき作り
とき 7月30日(日) 午前10時30分～11時30分
参加費 1,500円 定員 先着15人
ところ いずれも中央公民館
申し込み・問い合わせ先 中央図書館 ☎0968(25)1111

こちらからも申し込みできます！